



たかはし まさいち
高橋政一
(市民クラブ)

- スクールバスは登下校時の安全確保の観点からも導入すべき
- 幅4m以上の公道に接していない土地に新築できないことの周知は

質問 スクールバスは遠距離通学用に供用されているが、徒歩・自転車通学時の事故防止、防犯が大きな課題になっている。

胆沢区、衣川区から安全確保のためのスクールバス利用が地区要望として出されてきており、対応すべきではないか。

教育委員長 奥州市のスクールバス利用規定では、国の基準である片道小学生4km、中学生6kmを超える場合に運行している。通学上危険と認められる場合、距離が下回る場合でも冬期間の乗車や小中学生の混乗を認めている。安全上の要望が多く出ているので、各区の現状と問題点を調査の上検討していく。

質問 市バスやコミュニティバス、路線バスとの連携を図ることも必要ではないか。

教育委員長 関係部署と連携する中で、可能性について検討していく。

質問 都市計画法に指定されている地域では、幅4m以上の公道に土地2m以上接していなければ新築や改築ができない。このような土地を不動産業者は買わないし、売るにしても買い手



遠距離通学に供用されるスクールバス

の言い値で売るしかないという。周知が必要ではないか。

市長 災害時の避難や緊急自動車の通行に支障がないように接道の義務が定められている。

都市計画指定地域は水沢区全域、江刺区では用途地域指定されている地区、岩谷堂・稲瀬・田原の一部、前沢区全域、胆沢区は胆沢病院に隣接する一部である。所有している方々の事情がそれぞれ個別に違うことから、一律に対応するのではなく、個別の事案が出た時に丁寧に対応していく。



ふじた よしのり
藤田慶則
(創政会)

- 家を建てるなら奥州市で定住化を図れ
- スポーツの力で奥州市を元気に

質問 人口減少は重要な問題である。合併後の人口の推移と、減少の原因をどう考えるか

市長 合併時の人口は13万1271人で、平成23年度末で12万4605人。毎年千人前後が減り続けている状況。減少の大きな要因として、死亡が出生を、転出が転入を上回っており、若者の流出、未婚率の上昇や、就職難も原因の一つと考える。

質問 土地を購入し、住宅を新築する方に対する補助制度は。

市長 市有地等分譲促進補助金と、今年度からの定住促進持家取得補助金の2つの制度があり、どちらも50万円。交付実績は、市有地等は昨年の4月から今年の8月までに17件、定住促進は、今年8月までに13件である。

質問 年代にあったスポーツの楽しみ方があると感じる。生涯スポーツにどう取り組むか。

教育委員長 スポーツを通じて、市民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営むことができるまちづくりを目指し、生涯ス



グラウンドゴルフを楽しむ市民

ポーツの活動の推進を展開しており、今年度からは、「全市民週一運動」を提唱、展開している。

質問 チャレンジデーの現状と課題は。

教育委員長 全市民への参加を呼びかけるため、各関係機関・団体による実行委員会を組織し、今年で5回目の参加。事前の周知、事務所・地域での事前登録の徹底が不十分で、実施報告の集計方法にも課題があり、取り組みを強化していく。